

創世記 15 章の「アブラハム契約」とイザヤ書 53:8 から見た「第二の死（十字架）」

▶創世記 15 : 9~11 主は言われた。「三歳の雌牛と、三歳の雌山羊と、三歳の雄羊と、山鳩と、鳩の雛とをわたしのもつに持って来なさい。」

アブラムはそれらのものをみな持って来て、真っ二つに切り裂き、それぞれを互いに向かい合わせて置いた。ただ、鳥は切り裂かなかった。はげ鷹（→サタン^{サタン}の象徴）がこれらの死体をねらって降りて来ると、アブラムは追い払った。

→三歳：男子の3歳は離乳の歳であり、3歳になると自分の意志を表すことが出来、割当分の数に入れられた。

→真っ二つに切り裂き（創世記 15 : 10 とエレミヤ書 34 : 18 のみの表記である）

契約は、二人以上の間の合意である。ここでは契約を結ぶ（ヘブライ語では、「契約を結ぶ」＝「契約を切る」を意味する）際の古代の儀式を描いている。。当時の契約は、動物を二つに切り裂き、契約の当事者たちは切り裂かれた動物の間を通ることによって、契約が締結された（エレミヤ書 34 : 17~19）これは、契約をした者が契約に違反した場合、二つに切り裂かれても仕方がないことを意味していた。このように契約を守らない者は切り裂かれた動物のようになるという意味があったが、ここで動物の間を通ったのは神だけであった（神様の一方的な無条件契約、創世記 15 : 17）。

→エレミヤ書 34 : 17~19 それゆえ、主はこう言われる。お前たちが、同胞、隣人に解放を宣言せよというわたしの命令に従わなかったので、わたしはお前たちに解放を宣言する、と主は言われる。それは剣、疫病、飢饉に渡す解放である。わたしは、お前たちを世界のすべての国々の嫌悪^{嫌悪}の的とする。わたしの契約を破り、わたしの前で自ら結んだ契約の言葉を履行しない者を、彼らが契約に際して真っ二つに切り裂き、その間を通ったあの子牛のようにする。ユダとエルサレムの貴族、役人、祭司、および国の民のすべてが二つに切り裂いた子牛の間を通った。

▶創世記 15 : 17~18 日が沈み、暗闇に覆われたころ、突然、煙（→神の臨在の象徴）を吐く炉と燃える松明（→神の臨在の象徴）が二つに裂かれた動物の間を通り過ぎ（完全に焼き尽くされ）た（→契約の儀式＝契約の確認）。

→“目に見える約束のしるし”、十字架を象徴している。

その日、主はアブラムと契約を結んで言われた。「あなたの子孫にこの土地を与える。エジプトの川から大河ユーフラテスに至るまで、

▶イザヤ書 53 : 8 捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか／わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり／命ある者の地から断たれたことを。

[New King James Version Isaiah 53:8] He was taken from prison and from judgment, And who will declare His generation?

For He was cut off from the land of the living; For the transgressions of My people He was stricken.
→切り取る、切り離す

▶上記から、新約において、次のことが理解できる。

二つに切り裂いてしまった動物は再び一つに戻すことができないように、御子イエスは、私たちの罪の贖いのために、十字架刑に架けられ、死んで、父なる神と断たれた（切り取られた／切り離された）。

→罪の報酬である永遠の死＝第二の死（十字架）→黙示録 2 : 11、20 : 6、14、21 : 8

→第二の死（十字架）→葬り（埋葬）→安息→復活→顕現→昇天→着座（右の座）

→ローマの信徒への手紙 6 : 23 罪が支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。

→コリントの信徒への手紙一 15 : 3~5 最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです。すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりのわたしたちの①罪のために死んだこと、②葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりの③三日目に復活したこと、ケファ（＝ペトロ→ヨハネ 1 : 42、マタイ 4 : 18 他）に現れ、その後十二人（の残り弟子）に現れたことです。